

シリーズ第5回 ささえあいのまち

■「もったいない」をかたち(フードバンク)

NPO法人あいあいねっと代表の原田佳子さんたちは、「包装紙の印刷ミスや破れ、内容量が少なく規格外などの理由で、廃棄される食べ物が沢山あることを知り、常々もったいないと思っていました。そうした食品を、メーカーや小売店などから寄贈してもらい、食べ物を切実に必要としている人たちの支援団体等に送ることで、有効に利用できれば」と、平成19年11月、可部上市の一軒家を拠点に、フードバンク広島を立ちあげました。

また、拠点を「助け合い・支え合い・ふれあい」の場にもしたいとの思いから、「あいあいねっと」と名づけられました。

■元気にしとる(まめ nan レストラン)

平成21年10月には、寄贈の食材を使ったレストランを開設。格安メニューの提供で、「地域のお年寄りの安心や、ふれあいつくりのお役にたてれば」との思いから、開設となりました。

区内で取り組まれている「ささえあいのまち」づくりの紹介も、本号で5回目となりました。今回は、可部上市に拠点を設けている、特定非営利活動(NPO)法人「あいあいねっと」の取り組みを紹介します。

因みにメニューは、野菜あんかけうどん280円、おにぎり80円、手作り小鉢50円、コーヒー200円。全て、会員ボランティアスタッフによる手作りです。

現在では、「安くて、おいしくて、たのしい」と、多くの方がレストランを訪れスタッフとの会話も弾み、街角のふれあいサロンとなっています。



調理中のスタッフ

■^{かゆ}痒いとこに手の届く(まごの手サービス)

介護保険などのサービスでは手が及ばなかったり対応できなかったり、またボランティアさんによる無償の援助では気が引けて頼めない、かといって自分ひとりでは難しい・出来ないような困りごと。例えば、庭の草取り、掃除、洗濯、買い物、薬もらい、病院の付添など。文字通り孫の手となってあげる、有償会員制の支え合いのサービスを、平成21年1月から始められています。1年間で、平均90件のサービス提供がありました。

現在、利用会員35世帯、まごの手スタッフ12名、まごの手スタッフ1名で1時間600円、交通費300円。なお、まごの手さん2名1組での活動を原則とされています。詳細は、事務所へお問い合わせください。

■取り組みのマルチ展開(配食サービスも)

捨てられていく食材への「もったいない」との思いから始められた取り組みが、このような拡がりをもちながら、可部のまちの一角ですすめられています。さらに多くの方々賛同を得つつ、寄贈された食品を調理し、お宅に届ける配食にも取り組みたいと、原田代表をはじめ皆さんが今後の抱負を語られます。



和気あいあいと食事をされるみなさん

- 特定非営利活動法人
あいあいねっと事務所
- フードバンク
- まめ nan レストラン
- まごの手サービス



- 住所：広島市安佐北区可部3丁目9番22号
- 電話&FAX：082-819-3023
- E-mail: aiainet@hi.enjoy.ne.jp
- 開所時間：毎週火・金の10時～16時(祝祭日を除く)

